



NSバトルクライ

#195

7 / 2023 (134)

エンサイクロペディア - Michael Kühnen

21 - 独裁者

国家社会主義に向けられた残虐宣伝の一般的な非難の中には、国家社会主義政党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）が独裁の確立を目指していた、すなわち、自由を抑圧し、人民の意思に反する支配体制を確立し維持するために力を行使していた、という主張もある。

敵の残虐宣伝に対する防御は、新戦線宣伝の仕事ではなく、人民教育（党内：訓練）に委ねられているのである。

その代わりに、新戦線の共同体は、議会主義を伴う西側型民主主義と国家社会主義革命の拒否を攻撃的に公言している。このことから、党の指導の下、ヴェルキッシュの生活のあらゆるレベルにおいて、政治的総動員をもたらす国家が出現することになるのだ。これは、すべてのヴェルキッシュの力とエネルギーの動員をもたらし、現在のマイナス世界を克服し、新秩序への道を切り開くものである。

そのための前提条件は、真のフォルクスゲマインシャフトの実現であり、そこからしか国民の意志の共同体は生まれず、それが総合的な国家の基礎となるのである。



したがって、敵の残虐宣伝が独裁と決めつけるもの、すなわち、総動員状態の国家社会主義人民国家は、実際には、人民大衆の自由で確信に満ちた同意と忠誠を必要とするのである。これなしには、国家社会主義者の自己イメージに従ったヴォルクスゲマインシャフトも国家も考えられないからである。彼らを獲得することは、人民の意志の担い手であり、国家の前衛組織である国家社会主義党の政治的戦闘任務である。

しかし、政府の形態は--たとえそれが完全に人民を把握し、教育し、形作り、動員したとしても--人民大衆の同意と忠誠に頼ることができるものであれば、独裁ではありません--たとえそれが権力的手段を持っていたとしても!

さらに、国家社会主義人民国家の総動員は、それ自体が目的ではなく、目的への手段である。それは、支配するマイナス世界の退廃を克服することを可能にし、アーリア人種（アーリア人を参照）の人民を、種と自然に従った生活様式へと導き、種の保存と発展を確保し、それによって、新秩序を実現するものである。しかし、これは同時に、正しく理解された伝統と自由の秩序でもある。

したがって、新戦線は、独裁をめざすという非難をはねのけ、人民の種と性質に応じた生存と高度の発展を可能にし保障する、すなわち民族の主権と自由を実現する強力で完全な国家社会主義人民国家への支持を誇り高く宣言しているのである。

22 - 規律

規律とは、国家社会主義党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）がすべての党員に要求し、党とその指導者、あらゆるレベルの副指導者への服従において実現される内的態度である（Führerprinzipを参照）。

服従は国家社会主義革命の偉大な美徳である!

したがって、信仰の要件に次いで、服従の要件が政治的兵士の十戒のうちの第二番目にある。すべての党員、とりわけその政治的兵士は、党に従うのであって、他の誰にも従わない。命令の意味を理解していようがいまいが、党の命令が自分の意に沿うものであろうがなかろうが、遠慮なく、全力を尽くして従う。政治的兵士にとって、服従の義務は、自分の命を犠牲にすることにまで及ぶ。

卍の旗に誓う者には、まだ自分のものなど何も残っていないのだ!



国家社会主義者は、勝利できるようになるために、服従することを望む。したがって、幹部の強制的な服従ではなく、自由意志と洞察力から生まれる規律が、国家社会主義者の生活態度である。

国家社会主義者は、自分自身で考えることができ、またそうすべきです。彼は、国家社会主義について自分自身の個人的な理解を持っており、そこから提案を行い、考えを表明すべきです。上司は、そのような提案に応え、アイデアや提案を真剣に受け止め、実行するか、あるいは、なぜそれが今、あるいはそのような形で適用できないかを説明する義務があります。従順の義務は、それにもかかわらず、無限かつ無制限のものである。しかし、国家社会主義者は、自分が「大砲の餌」にすぎず、同志の中の同志ではなく、党への信頼のみがもたらすことのできる勝利のために共謀しているという感覚を持ってはならない。

最高権威者は党首である。党首が発言すれば、その問題は最終的に決定され、党の大筋に疑問の余地はない。このように服従することを学んだ者だけが、後に下位の指導者、あるいは指導者自身になるのに適しているのです。

従うことを学んだ者だけが、いつの日か命令を下すことができるようになるのです

国家社会主義者は、自分自身にも、自分の同志にも、自分の指導的同志の誰にでも、あらゆる形態の無規律を通させてはならない。党が、革命的な戦闘的共同体のままであり、ブルジョアの豚小屋に堕ちないように、規律を維持できない、あるいは維持しようとしめない人間を、何度も何度も粛清しなければならない。

革命後、国家社会主義が、まず党の同志に、そして最終的にはすべてのフォルクスジェノッセンに対して教える無制限かつ無条件の規律は、国家社会主義人民国家（国家を参照）の完全な政治動員を可能にし、その結果、新秩序実現のための条件を作り出すのです。

23 - ドグマチズム

人間の将来を賭けた精神的な戦いにおいて、イデオロギーと世界観は厳密に区別されるべきものである。

イデオロギーは世界を説明し、そうすることで、信念-ドグマ-に基づいた多かれ少なかれ論理的な思考構造を形成する。これは独断論を生み出し、それに影響された人々は、現実の多様性、矛盾、複雑さ（分化も参照）に対して盲目になる。なぜなら、もはや世界をあるがままに見るのではなく、自分の信念に従ってあるべき姿として見るからである。このような独断的なイデオロギーが強力になればなるほど、その結果はより悪いものとなる。

現実をレイプして、無理やり自分の世界観に同化させようとする。独断論は、現実から決して学ばず、現実を抑圧し、曲げ、抑圧して、自分の独断で置き換えるように

しようとする。独断論は、自然に反し、生命に敵対し、人間を現実から、ひいては自然とその生物学的生命法則から疎外する。それは人間社会の退廃を促進し、引き起こす。

すべてのイデオロギー、たとえばキリスト教、精神分析、マルクス主義は教条主義に基づいているが、国家や文化制度、生活態度も同様に、閉鎖的世界観の形成を放棄しているものの、自然に反する信念に基づいている。たとえば、すべての人の平等、個人主義、「人権」、人間は自然の法則に従い、生物的衝動構造に決定されているという否定である。したがって、例えば自由主義、資本主義、民主主義、議会主義なども独断的であり、生命に敵対的である。

これに対し、世界観は現実を認識しているため、教義ではなく、自然の法則に由来し、人間の本性に対応し、現実において自らを証明しなければならない洞察に基づいて世界観を構築している。世界観は、学び、進化し、必要であれば、誤りを犯したときに自らを正すことをいとわず、またそれができるものです。イデオロギーの「閉じたシステム」とは対照的に、思想の「開いたシステム」を形成しているのです。世界観は、人々が現実の中で自分の道を見つけ、その中で、その生命の法則に従ってより高く発展することを助ける思想のオープンシステムである。

国家社会主義は、世界観であり、イデオロギーではない。その精神的基盤は、教条主義ではなく、生物学的ヒューマニズムの科学的認識論である。

とはいえ、絶対確実な信仰と、すべてを説明する矛盾のない閉じた思考体系が約束されている教条主義は、国家社会主義者でも屈することのできる大きな誘惑だが、そうすることによって、国家社会主義を歪め、精神の退化を引き起こすのである。

だからこそ、教条主義との闘いは、国家社会主義革命の重要な部分であり、新秩序を実現するための前提条件なのである。

教条的な墮落との闘いにおける国家社会主義の主な防波堤は、その自由で開かれた精神と、あらゆる小宗派主義、道徳主義（道徳も参照）およびあらゆる誤った確信に敵対する政治的兵士の態度のおかげで、国家社会主義ドイツ労働者党（NSDAP）のシュトゥルム＝アブテイルング（SA）である。

国家社会主義者は、教義からではなく、人生の法則と自分自身の本性の知識から安心と信頼を得るのである。

24 - インカム

フェルキッシュ社会主義およびそれに基づくコーポラティブの経済秩序の基本思想は、労働倫理に従った全民族同志の権利と義務の平等と、プロイセン主義の指導原則「各自に」に従った正義であり、ドイツでフェルキッシュ社会主義がしばしば「プロイセン社会主義」と呼ばれるのはこのためである。フォルクスゲノッセンの個人所得の性質と範囲に対する国家社会主義の態度は、この2つの原則から導き出される。

人々は平等ではなく、気質、興味、実行意欲が異なる。性別、性格、タイプも異なる。



る（差別化も参照）。従って、所得は全員同じというわけにはいかないし、そうであってはならないが、国家共同体のための個人の具体的な業績に公正に報いるものでなければならない。

国民共同体を引き裂き、それを不可能にするような、階級闘争の危険を伴う鋭い階級的境界が存在したり、新たに発生したりすることのないように、上と下とで、それを超えることも下回ることもできない所得限度を定めなければならない。

フォルクスジェノッセンの収入の多寡は、頭脳労働者であるか肉体労働者であるか、学校教育の良し悪し、あるいは家柄の良し悪しには関係なく、もっぱら、彼が自分の居場所で、自分の能力に応じてフォルクスジェマインシャフトにどれだけ貢献するか、その仕事の責任と重要性がそれにどれだけ大きいのか、による。基本的には。

自分の能力と実績の限界に対応した、国家社会にとって重要な仕事は、公平に報われ、等しく尊重される。

個人所得は、専ら自己の労働によってもたらされなければならない。労働や努力を伴わないあらゆる収入（利子収入、家賃、リース料、個人的な記念品を超えた相続など）は、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の第11項でも要求されているように、排除される。国家社会主義では、個人だけが働き、それに対して公正な報酬を受ける。彼の所得は、彼の個人的な業績に対応する。彼の個人所得は、彼の労働の成果である。こうして、資本主義はついに克服される。この資本主義は、貨幣もまた「働く」ことができ、したがって、その所有者に労働のない楽な収入をもたらすという倒錯した考えに基づいている（利子への束縛も参照のこと）。

しかし、国家社会主義者のフォルクスゲマインシャフトは、労働の倫理に基づくものであり、お金の力に服従するものではありません。

25 - ELITE

国家社会主義は、生物学的ヒューマニズムの世界観として、生命の現実を自然法則によって決定されると仮定する。

遺伝と分化のほかに、生存競争における淘汰は、あらゆる形態の生命にとって最も重要な自然の法則である。

淘汰は、生命に適さないものをすべて淘汰し、進化を進め、その結果、種の保存と種の発展を可能にするのである。

ただし、自由意志によって、人間は一時的に自然の法則に反して生きることができ、その結果、退廃し、種の存続を危うくしている。

したがって、アーリア人の人種と民族の種の保存と発展のための闘争において、国家社会主義世界運動とその党は、人民の意志の担い手として、すべての人民と人種の同志に、種と自然に従って生き、行動する意志を満たすよう努力する。これには、人種衛生の措置と同時に、一方では共同体（社会主義を参照）への意志を、他方では人民同志のすべての共同体内におけるエリート形成への意志を含んでいる。このエリート形成は、国家社会主義革命から生まれた総合的な国家によって果たされるものであり、最終的に新秩序につながるものである。

この意味で、国家社会党は、すべてのフォルクスジェノッセン-特に青年-に、共同体の理念と、国民生活と個人生活のあらゆるレベルにおけるエリートの形成を教育しているのである。ドイツでは、このことは、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の第20項目に反映されている。

エリート教育は、階級、富、出身、職業に関係なく、才能と実績のみによって、しかも若い時から行われる。この目的のために、革命後、党と国家によってエリート学校が設立され、そこでヴェルキッシュ・エリートが総統府の原則にしたがって教育されるのである。

しかし、このエリート形成は、闘争の時期にすでに始まっている。党自身が、支配的なマイナス世界の退廃に抵抗して、また政敵による迫害に抵抗して、革命と新秩序のために闘う中で、幹部形成を通じて、闘うエリートを形成する（「幹部」の項も参照）。

26 - エリート・トレーニング

生物学的人文主義は、国家社会主義の科学的知識理論として、生命の法則の知識を得ようとするものである。そして、政治勢力としての国家社会主義党は、この法則に基づいて、国民の生活の現実と国家の性質と形態を形成する。

遺伝や分化とは別に、生命の最も重要な法則の一つは、生存のための闘争であり、自然界では、最も優れた、最も生きる能力のある者の選択と、劣った、生きるのに適さない者の排除につながるものである。文化的発展の条件下で、絶え間ない退廃の危険のもとで、種の保存と種の発展を可能にするこの生命の法則は、人間においては、人工的なマイナス選択によって危険にさらされている（「Untermensch」も参照のこと）。アーリア人種（アーリア人参照）においては、この誤った発展がはるかに進んでいる。

したがって、国家社会主義の世界運動は、アーリア人種の組織された生きる意志として、種と自然に則した文化に復帰するために、国家、人種、個人の生活のすべての

レベルにおいて、鋭い選択とエリート形成が要求される。

これらの目標は、国家社会主義政党の党綱領に再び見出すことができる。各政党は、国民の中にエリートを育てたいと考えているのである。

闘争期には、これは主として革命闘争そのものの要求によって起こり、戦闘的なエリートが生み出される。革命後、国家エリートは、国家社会主義人民国家の総動員の枠内で、あらゆるレベルで形成される。エリートの形成は、当然、成長する男子青年に重点を置いて行われ、その結果、新秩序への行進の保証人となる。

国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領では、教育方針が第20項目に記されている。それによると、才能のある少年は、その親の地位、出自、財産にかかわらず、すべて国家によって奨励されるべきであり、それによって、真にヴェルキッシュな-階級にとらわれない-エリートが育成される。ある分野で才能と適性を持つ者は誰でも、その分野で奨励されるべきである。そうすれば、人民の同志のすべての能力が民族共同体のために使われ、成長する青年そのものが、かつて総統が『我が闘争』で要求したように、民族と人格の最高の価値の体現者として成熟する人間に形成されるのである。

第三帝国に存在したNPEA（通称「ナポラ」）やアドルフ・ヒトラー学校、そしてオーダーキャッスルや党のハイスクールを冠することになった国家社会主義人民国家のエリート学校も、この目的にかなうものである。

新戦線の思想的共同体は、党綱領の要求と第三帝国の具体的な計画を取り上げる。革命の後、それは確立のために努力する。

ヴェルキッシュ国家のプロフェッショナルなエリートを養成するために、10歳からの男子エリート校として「Nationalpolitische Erziehungsanstalten」（NPEA）が設立されたのである。

「アドルフ・ヒトラー学校」は、国家社会主義に特別な関心と熱意を持つ14歳以上の少年を対象に、党のために職業的、政治的、戦闘的なエリートを同時に育成するエリート学校として設立されました。

党とその支部の下級・中級指導層の訓練のための城を注文する

（「Führerprinzip」の項も参照）。

は、生命・国家指導者アカデミーという形で、党の上部指導者団を養成するための高等学校である。

このような教育機関では、「ヴォルキッシュ・エリート教育」を実施し、国の将来を担う人材を育成しています。

卍の下で楽しむ

国家社会主義者の活動には、明るい場面もあるのでゲルハルト・ラウクの小冊子「Fun Under the Swastika」からの抜粋を紹介します。

15.

ある暑い夏の午後、私は当直員の机に座り、玄関のドアを開けてナチの文献を読んでいた。たまたま顔を上げたとき、目の端に、だらしない唇、大きな丸い目、そして昔のコメディシリーズ『わがギャング』のバック・ウィートに似たアフロのある大きな黒人の頭が見えたんだ。

そこで私は急には動かず、古い38口径を手にして彼に向けるか、立ち上がって東のニガー・タウンまでこのお化けを追いかけるか、どちらかにしようと考えた。その代わりに、私は彼を本当に怖がらせてやろうと考えた。当直員の机の下にある警報が鳴るスイッチを入れたのだ。ブラックはまだロックウェル・ホールの内部をよく観察しているとき、サイレンが鳴り響いた。そして、昔の*Step & Fetch It*のように、そのブラックはハイステップで一瞬のうちに去っていった。玄関から71番街（st）を見たとき、ウエスタンアベニューに向かうクロのヒールの後ろから煙が出ているのが見えたのは確かである。

16.

ロックウェル・ホールで電話応対をしていると、爆弾予告や、警察では助けてもらえないから助けてくれという電話など、さまざまな奇妙な電話がかかってきたものです。でも、印象に残っているのは、ある黒人からの電話で、「ホワイトパワーホットライン」の件ですごく怒っていたんです。“ロックウェル・ホールの地下にいる 哀れな黒人の鎖を外せ”とやってきました

ドライアイス・ワシントンと ジョニー・ホワイトが出演する ホワイト・パワー・ホットラインの ことだった ドライアイスが地下の檻から こっそり抜け出して -ジョニー・ホワイトはこう言った、「ドライアイスは檻に戻れ。 黒人はホワイトパワーの ホットラインを作っちゃダメだ”

当時は、4つのホットラインがあった。電話会社の担当者によると、私たちのホットラインは街中で一番よく電話がかかってきたそうです。黒人からも電話がかかってくる。

17.

という記者の質問に、「私はセックスシンボルで官僚です」と答えた。”



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITSPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Seitlich Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrzehnte von Massentötung, Verdrängung und Verleumdung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der germanischen Rassen hoch gelichteten Führers Adolf Hitler zu vernichten.

Alle Nationalsozialisten sind weniger affektierte Völker- und Rassenmenschen als ein Schakal ein Schakal im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (?) – zu begehen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überforderung und Kastenzerstörung.

Ein "egal" oder "bigot", ob im Wahlkampf oder im Straßengang, ob als Propagandamittel benutzt oder auf einem Kirchhof mit anderen Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler
Gerdhard Lenz




N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (13)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingthescient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (23)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "egal" or "bigot", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gerdhard Lenz



NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO nsdapao.info